

2018年3月期第1四半期
決算説明資料

2017年7月27日

 日立化成株式会社

(億円)

項目	16/1Q	17/1Q	前年 同期比
売上収益	1,250	1,520	122 %
営業利益	120 9.6%	136 9.0%	113 %
当期利益 (親会社株主に帰属)	72	112	155 %
営業利益からその他の 収益・費用を除いた金額	113 9.0%	136 9.0%	121 %

為替レート (1US\$)	平均	¥108.14	¥111.09
	期末	¥102.91	¥112.00

機能材料

712億円 (前年同期比 111%)

U 電子材料

SSD向けを中心に、CMPスラリーが増加

U 無機材料

環境対応自動車向けに、リチウムイオン電池用カーボン負極材が増加

U 樹脂材料

テレビ向けを中心に、ディスプレイ用回路接続フィルムが増加

U 配線板材料

半導体パッケージ基板向けを中心に、銅張積層板が増加

先端部品・システム

809億円 (前年同期比 133%)

U 自動車部品

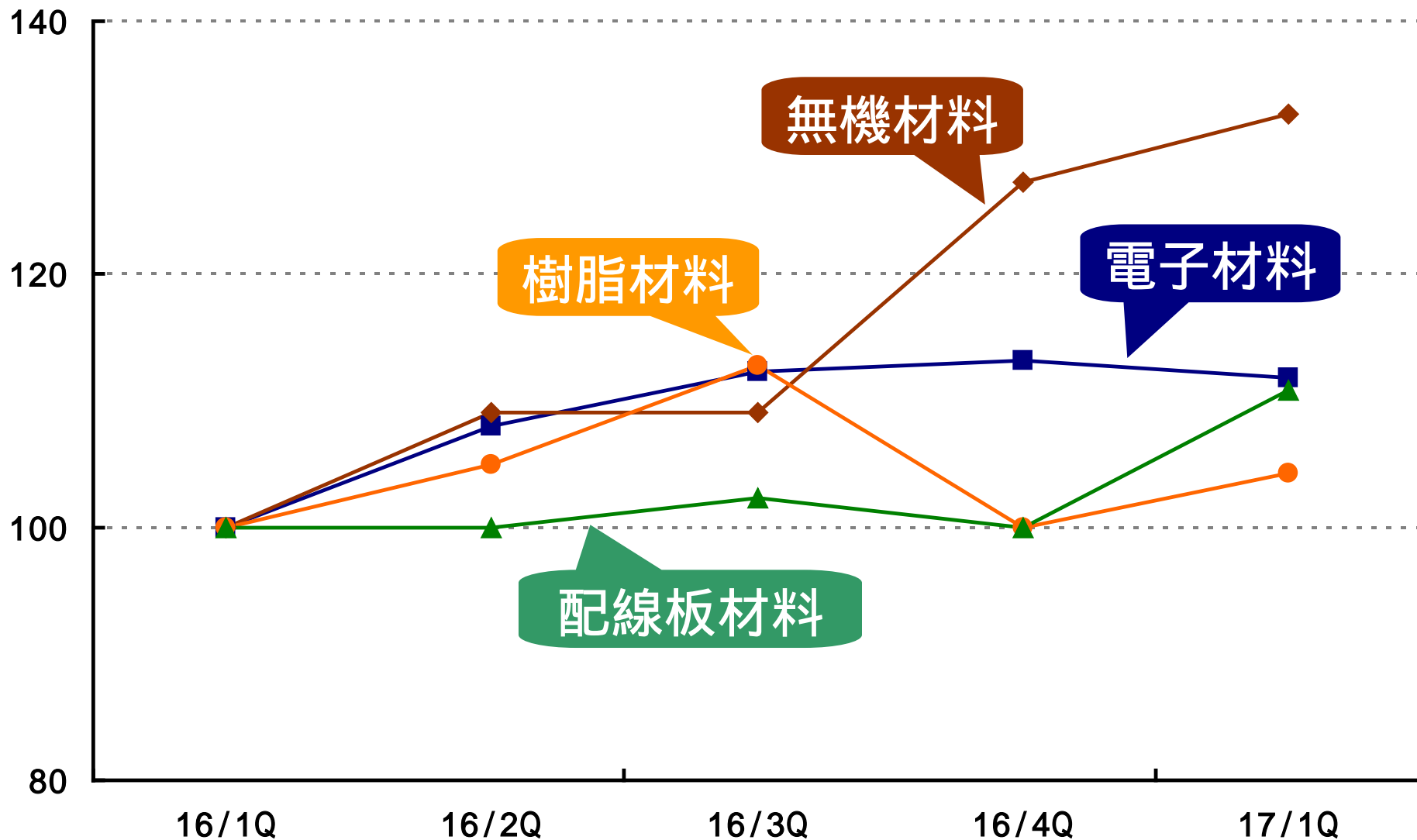
新規案件の立ち上げ等により、樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品が増加

U 蓄電デバイス・システム

前年度第4四半期にFIAMM Energy Technology S.p.A.を連結子会社化したこと等により、車両用電池と産業用電池が増加

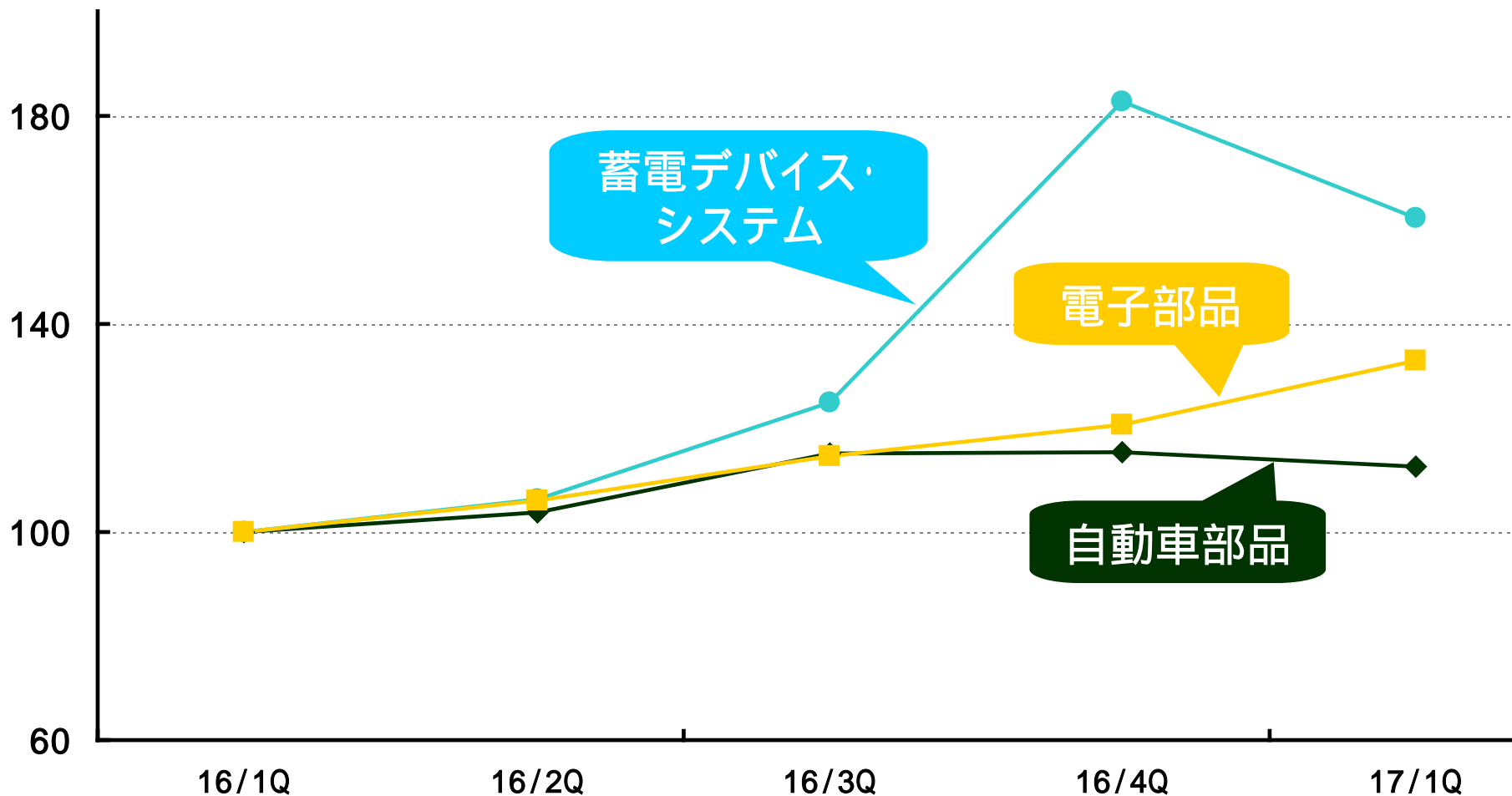
	売上収益	前年同期比
機能材料	712 億円	111 %
電子材料	237	112
封止材		109
ダイボンディング材料		94
CMPスラリー		137
無機材料	73	133
リチウムイオン電池用負極材		148
樹脂材料	147	105
ディスプレイ用回路接続フィルム		103
配線板材料	195	111
銅張積層板		111
感光性フィルム		110

対16/1Q指数

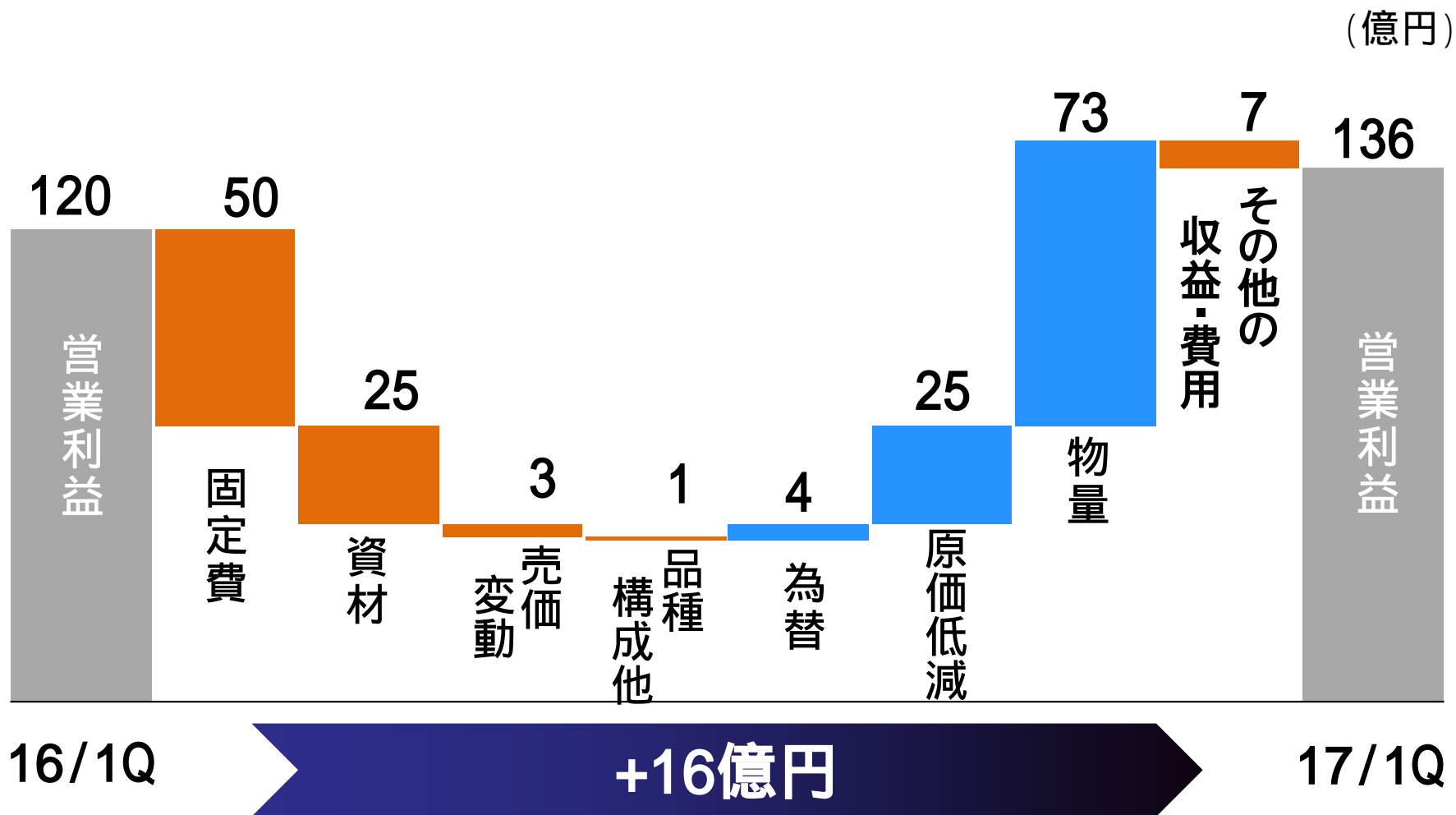


	売上収益	前年同期比
先端部品・システム	809 億円	133 %
自動車部品	322	112
樹脂成形品		113
摩擦材		123
粉末冶金製品		109
蓄電デバイス・システム	362	160
車両用電池		205
産業用電池		149
電子部品	109	133

対16/1Q指数



営業利益の偏差説明 (1)



営業利益の偏差説明(2)

(億円)

セグメント	16/1Q	物量	売価 変動	為替	資材	原価 低減	固定費	品種 構成他	その他の 収益・ 費用	17/1Q
機能材料	107	24	10	2	7	15	11	0	9	111
先端部品・ システム	13	49	7	2	18	10	39	1	2	25
計	120	73	3	4	25	25	50	1	7	136

(億円)

項目	16年度末 (2017/3月末)	17/1Q末 (2017/6月末)	増減
総資産	6,005	6,141	136
負債	2,244	2,321	76
有利子負債	474	595	121
純資産	3,761	3,820	60
親会社株主持分	3,696	3,756	60

(億円)

項目	16/1Q	17/1Q	対前年 増減
営業活動による キャッシュフロー	83	83	0
投資活動による キャッシュフロー	80	190	110
財務活動による キャッシュフロー	71	44	115
資金残高	1,071	1,020	52

17年度業績見通し

12

(億円)

項目	16年度 実績	17年度 見通し	前年 同期比
売上収益	5,541	6,100	110 %
営業利益	532 9.6%	580 9.5%	109 %
当期利益 (親会社株主に帰属)	402	425	106 %
営業利益からその他の 収益・費用を除いた金額	540 9.8%	610 10.0%	113 %
為替レート (1US\$)	平均	¥108.38	¥110.00
	期末	¥112.19	¥110.00

前回予想値(5月11日公表)から変更なし

(参考) 主要材料購入単価推移

(16 / 1Qを100とした指数表示)

項目	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q	17/1Q
原油(ドバイ)	100	100	112	123	115
鉛	100	94	103	116	108
エポキシ	100	100	100	100	100
PETフィルム	100	100	100	100	100
MMA	100	100	105	105	110
ガラスクロス	100	100	103	107	115
銅箔	100	103	119	125	123

Hitachi Chemical

Working On Wonders

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

本資料を無断で転載、二次利用することをお断りいたします。

